

地理歴史科，公民科 授業構成案

1 基礎情報

教科	地理歴史科	科目	世界史A (歴史総合)
主題名 (単元)	経済危機から第二次世界大戦へ		
副題	一多面的視点をもった説明をするために一		
教科書 副教材	『明解 世界史A』 (岡崎勝世ら編 帝国書院)		

2 資質・能力

ねらい (単元目標)	第一次世界大戦から第二次世界大戦を通観して、その原因を多角的・多面的な視点に立って考察することにより知識を整理して関連付けさせる。その結果、より広い視野に立った歴史観を獲得させる。	
身に付けさせたい力 (期待される生徒の変容)	<ul style="list-style-type: none"> ・経済・政治・外交など多面的視点を持ち、相互に関連付ける。 ・二つの世界大戦を比較し、より広い歴史的視野をもつ。 	
資質・能力 獲得の証拠	多面的視点	・第二次世界大戦に向けた各国の状況について、経済・政治・外交などの側面を踏まえた図を作成することができる。
	広い歴史的視野	・第一次世界大戦と第二次世界大戦に共通する特徴を見だし、第二次世界大戦への経緯を説明することができる。

3 指導計画 (概要)

	教員の働きかけ	生徒の活動
指導計画 ①	【問①】「第一次世界大戦から第二次世界大戦に向けて、世の中は良くなったのだろうか、悪くなったのだろうか。」	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で考えた後、ペアで自分の考えを発表する。 ・挙手により回答する。
	【問②】「『第一次世界大戦の特徴』(資料)のうち、あなたがもっとも重要だと思うものはどれか。また、それはなぜだろう。」	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で考えた後、ペアで自分の考えを発表する。 ・挙手により回答する。
	【問③】「『第二次世界大戦の特徴』(資料)のうち、あなたがもっとも重要だと思うものはどれか。また、それはなぜだろう。」	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で考えた後、ペアで自分の考えを発表する。 ・挙手により回答する。
	【問④】「第一次世界大戦と第二次世界大戦と、ともに世界大戦と名前がついているが、その特徴で共通するものはあるだろうか。」	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で考えた後、ペアで自分の考えを発表する。 ・挙手により回答する。
	【問⑤】「第一次世界大戦後に、再び戦争を起こさないようにするための試みはなかったのか。」	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で教科書を使って調べた後、ペアで自分の考えを発表する。 ・挙手により回答する。
	【問⑥】「第一次世界大戦から第二次世界大戦にかけての年表を作ってみよう。」 【留意点】アメリカ、ロシア(ソ連)、ドイツ、フランス、日本、中国の中から1国選ばれる。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ一つの国について調べる。 ・教科書を利用して調べる。 ・A4の用紙1枚程度にまとめる

	教員の働きかけ	生徒の活動
指導計画②	<p>【問⑦】「第一次世界大戦から第二次世界大戦にかけての各国の関係を図にしてみよう。」</p> <p>【留意点】第二次世界大戦の特徴について触れさせる。前回年表を作った国を中心に考えるよう指示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルーブリックを黒板に投影する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで前時に選んだ国について教科書等を利用して調べ、A4の用紙1枚に図を描く。
	<p>【発表】「グループの作成した年表と図に基づいて、第一次世界大戦から第二次世界大戦に向けた各国の動きを説明せよ。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでまとめた図と年表を黒板に掲示し、グループで発表する。
	<p>【振り返り①】「各グループの年表・図を参考にして、どのようにして、第一次世界大戦から第二次世界大戦が起こったか説明せよ。」</p> <p>【留意点】各グループの作成した年表・図は黒板に掲示して参考にできるように指示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルーブリックを黒板に投影し、見通しを持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人でノートに記述。（ノート5行分程度）
	<p>【振り返り②】「第一次世界大戦から第二次世界大戦に向けて、世の中は良くなったのだろうか、悪くなったのだろうか。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で考えた後、ペアで自分の考えを発表する。 ・一部の生徒が全体に向けて発表する。

4 その他

参考資料	・『世界史資料 下』（青木孝寿ら編 東京法令出版）
活用が期待される ICT機器・アプリ等 【機】ICT機器, 【ア】アプリ	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットPC【機】（本時のねらいや指示について提示） ・プロジェクタ【機】（本時のねらいや指示について提示）